



公益財団法人 日本対がん協会 「日本対がん協会」と「対がん協会」は登録商標です

〒104-0045 東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル7階
☎ 03-3541-4771 FAX 03-3541-4783 <https://www.jcancer.jp/>

主な内容

- 4面 がん相談ホットライン年報
2020年度は前年度比37%減
- 6面 2019年度支部がん検診の状況
子宮頸がん
- 8面 がんテーマに特別授業
奥仲医師と「漱石」が対談

2020年のがん診断件数 早期が減少 進行期の増加を懸念

日本対がん協会とがん関連3学会が初の全国調査

公益財団法人日本対がん協会は、がん診療への新型コロナウイルス感染症の影響を把握するため、がん関連3学会(日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会)の「新型コロナウイルス(COVID-19)対策ワーキンググループ(WG)」と協力して国内486施設を対象に、5つのがん(胃、大腸、肺、乳、子宮頸)の診断数などのアンケートを実施。回答を得た105施設では、2020年のがん診断件数は8万660件で、2019年の8万8,814件より8,154件(9.2%)少なく、治療数(外科的・鏡視下的)も減ったことがわかった。おおむね早期が減る一方、進行期は両年で差が小さい傾向となり、がん種によっては2020年の方が多いケースもあった。今後、進行がんの発見が増えることが心配される。※2~3面に関連記事

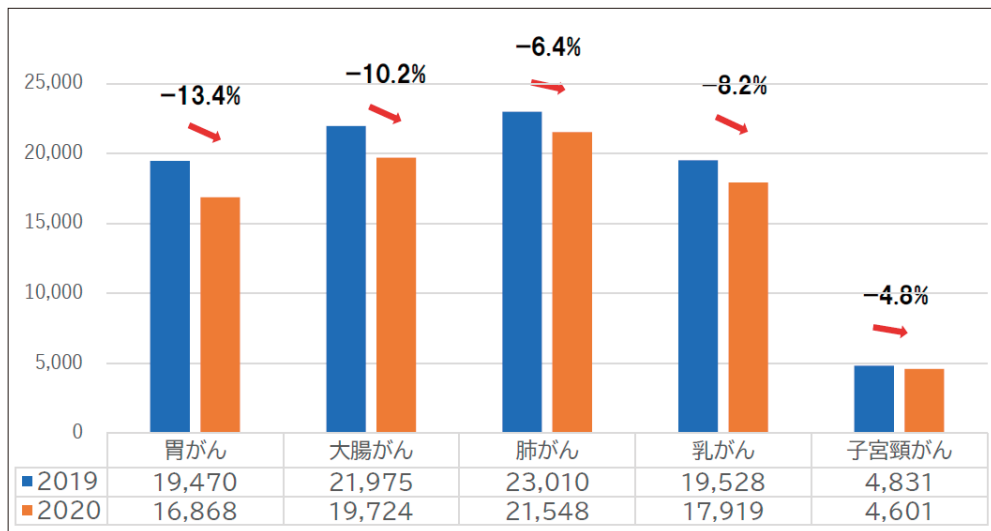
アンケートは今年7~8月、全がん協会加盟施設、がん診療連携拠点病院、がん診療病院、大学病院など486施設に診断数、臨床病期(1~4期、がん種によって0期も含む)、手術数、内視鏡治療数などを聞いた。全国の施設を対象にした大規模な調査であり、北海道東北15、関東25、中部北陸19、近畿16、中国四国12、九州沖縄18の計105施設から回答を得た。(回答率21.6%)

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により、がん検診をはじめ、各種検診(健診)が一時中断されたことに加え、受診控えや通院控え、県境をまたぐ移動の自粛などで検診受診者、通院者が減り、結果的に診断数も減ったとみられる。5つのがんの診断数の減少幅は、胃がんが13.4%で最大、次いで大腸がん10.2%、乳がん8.2%、肺がん6.4%、子宮頸がん4.8%となった。

がんに罹患する人の割合は新型コロナ流行下であってもほぼ変わらないと考えられるため、コロナ流行前の2019年と同じように検診や通院ができていれば発見できたがんは約9%あったと推測される。また、早期がん発見数の減少が顕著なことから、今後、進行がんの発見が増えることが心配され、予後不良や将来的ながん死亡率上昇のおそれもある。

今後も、科学的根拠に基づくがん検診の受診勧奨を強め、コロナ感染を心配して検診や通院を控える人々たちを受診につなげることが重要になる。そのためには、ワクチン接種などによる感染対策の充実を図るとともに、がん対策も迅速に広げていくことが欠かせない。

今回の調査結果は11月4日にメディアに公表し、説明会を開きました。全国規模の傾向をとらえたデータとして注目され、新聞・テレビ・雑誌・ネットメディアなどで多数報じられています。ご多忙を極める中、調査にご協力いただいた各施設に厚く御礼申し上げます。日本対がん協会としても検診会場でのコロナ対策を進め、科学的根拠に基づくがん検診の受診率の向上に努めます。



5つのがん診断数の推移

5つのがん種 進行期別の診断数、治療数の推移

前年比で早期がんが減少傾向

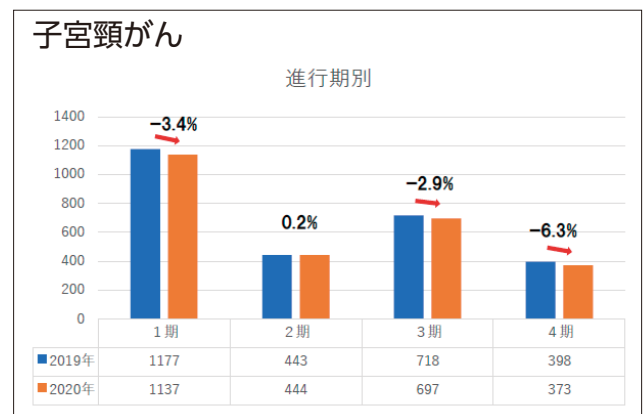
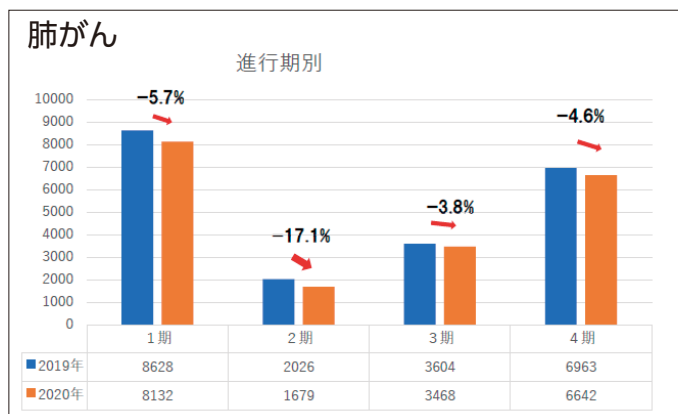
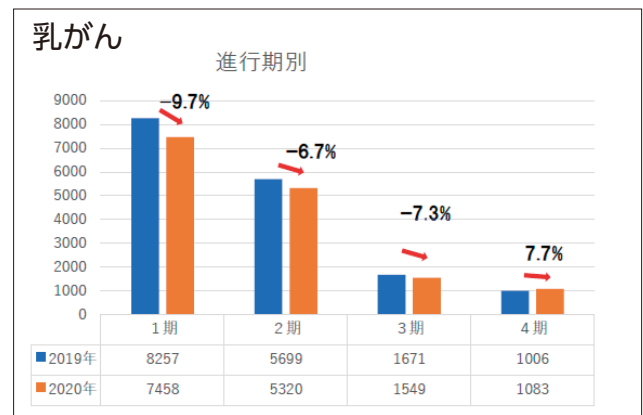
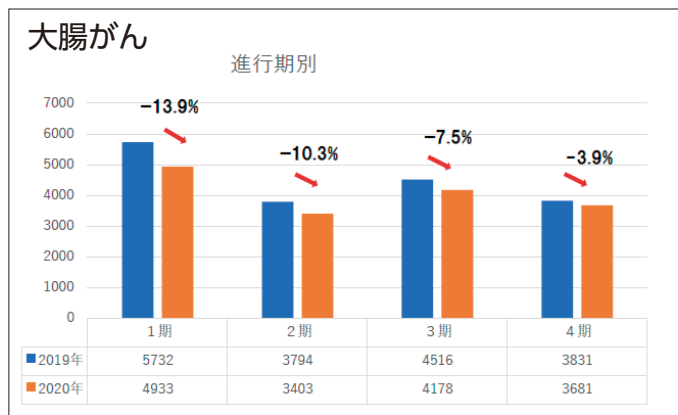
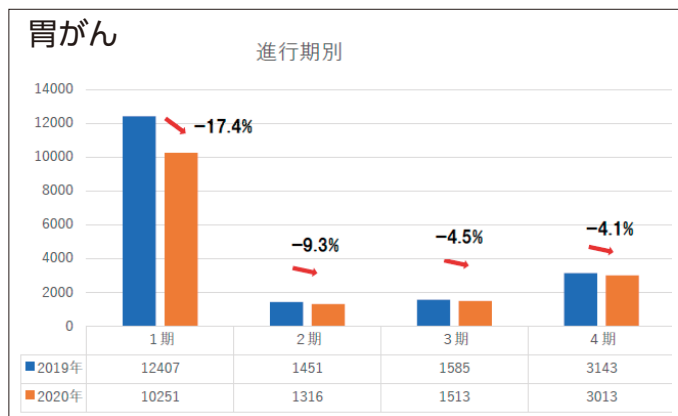
5つのがん(胃、大腸、肺、乳、子宮頸)の診断数をがん種別、進行期別にみると、胃がんは1期が前年比17.4%減、大腸がんは1期が同13.9%減と2~4期と比べて減少幅が大きい。また、月別の診断件数は、最初の緊急事態宣言が出た4~5月に落ち込み、宣言解除後の6月以降も影響が残った。肺がんは2期の落ち込みが大きく、1期も3、4期より落ち込みが大きかった。

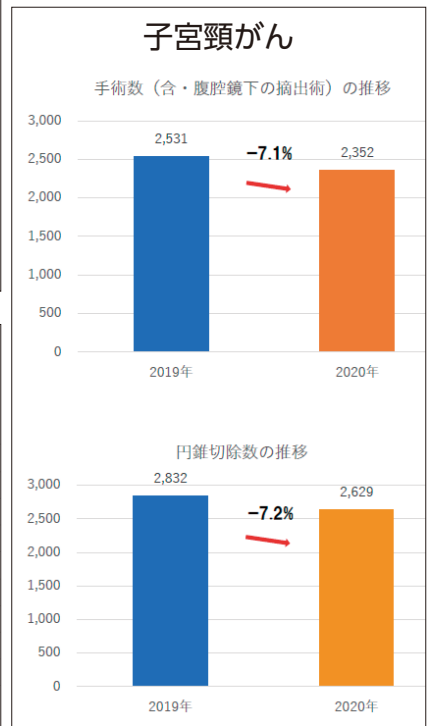
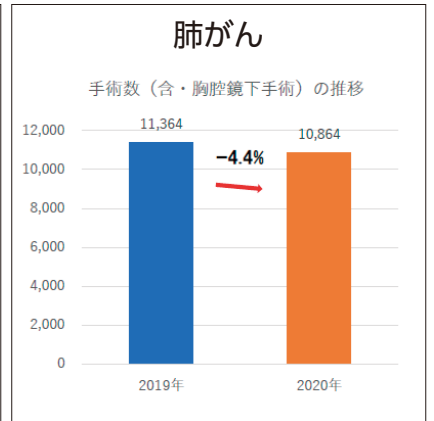
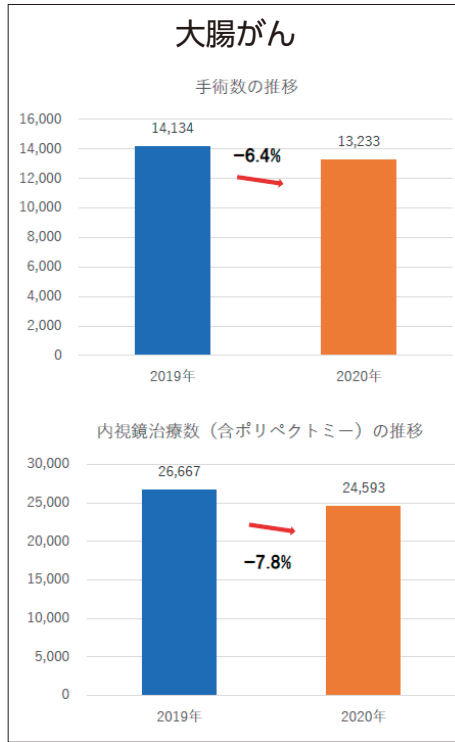
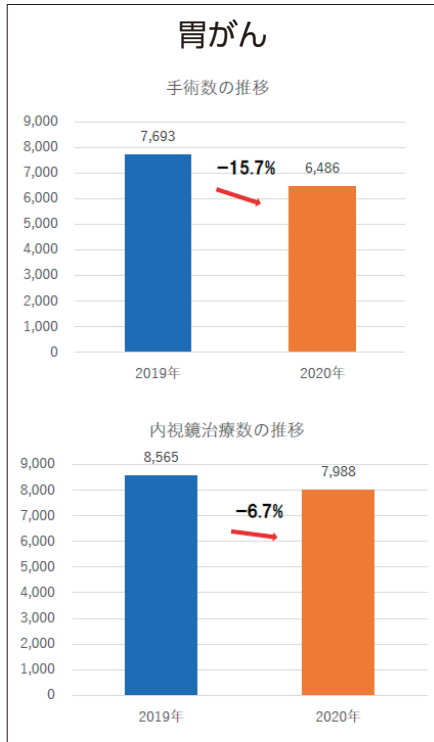
乳がんも早期の診断数が減少する傾向にあった。子宮頸がんは4期の減少幅が最大で、次いで1期が落ち込んでいた。

治療は外科的手術、内視鏡・腹腔鏡による治療の件数を聞いた。胃がんの手術件数は前年比15.7%減、内視鏡による治療数は同6.7%減。大腸がんも同様に減った。肺がんは胃がん、大腸がんより減少幅は少なく同4.4%減。

おおむね早期の減少幅が大きかった背景には、コロナ禍による移動自粛やコロナ感染を恐れての受診・通院控えに加え、がんの自覚症状は、早期段階ではなかったり、進行がんに比べて少なかったりするため、受診控えなどの傾向が強まったと考えられる。

日本対がん協会のグループ支部が実施する5つのがん検診は年間約1,100万件。今回の調査で集計された2019年と2020年の診断件数の差8,154件を、協会支部のがん検診で見つけようとした場合、発見率から試算して約717万件のがん検診が必要になる。そのため、今後は、がん検診の受診勧奨を強めるとともに、コロナワクチン接種を進めて安心して受診・通院できる環境を整えることともに、がん対策の拡充が重要になってくる。

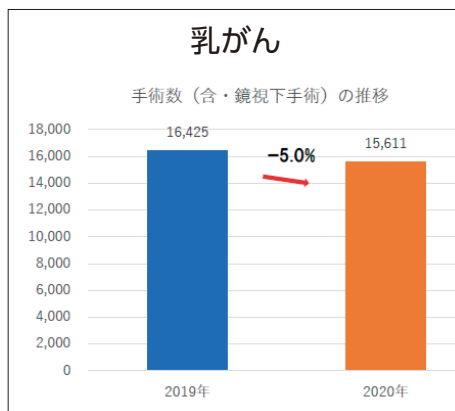




調査関係者コメント

日本癌治療学会・土岐祐一郎理事長
 がんは1期での予後はいいが、進行によって悪くなる。がん種で進行の速さも違い、胃がんの場合、早期はゆっくりだが、進行期に入ると速い。検診を充実させるためにも、コロナワクチンを打ち、安心して受診してほしい。

日本癌学会・佐谷秀行理事長
 がんで年間37万人、1日1000人が亡くなる。今後、深刻な事態にならないよう、がん検診受診の勧奨が極めて重要になる。



がん関連3学会新型コロナ対策WG・寺嶋毅座長
 昨年、受診を躊躇する動きに対し、受診控えは早期発見の機会を失うことになるので発信してきた。全国規模で5大がんについて調べた貴重なデータであり、キャリアオーバー分が早めの受診に結びついてほしい。

神奈川県立足柄上病院・柳橋崇史医長
 コロナ患者の受け入れもあり、昨年

4、5月は内視鏡検査はほぼゼロ、年間の内視鏡処置は約35%減った。当院のがん発見は未解析だが、これだけ減るのは重大。胃がん、大腸がんは早期なら内視鏡治療で治療できるが、そこを逃すと体に大きな負担がかかる。がん発見減に注目し、対策をとらなければいけない。

自治医科大学さいたま医療センター・今野良教授 (産婦人科)
 子宮頸がんは前がん状態での早期発見が重要だが、円錐切除、手術ともに約7%減り、将来に影響すると危惧し

ている。やはり検診は重要だ。子宮頸がんはHPVワクチンでも減らせるが、日本の接種率は世界の中でも低く、この点にも留意したい。

日本対がん協会・垣添忠生会長
 主ながんに関する病院の診断数・治療数の減少、とくに1期の減少という結果には、がんは初期では無症状の病気ということが反映した。協会のがん検診は一時約30%減った。感染防止策で受診者は戻りつつあるが、この結果は重く受け止めたい。

古本で日本対がん協会に寄付ができます

読み終えた本やDVDなどを活用しませんか？

詳しくは「チャリボン」 <https://www.charibon.jp/partner/jcs/>
 (ISBNのバーコードがついた書籍類が対象です)

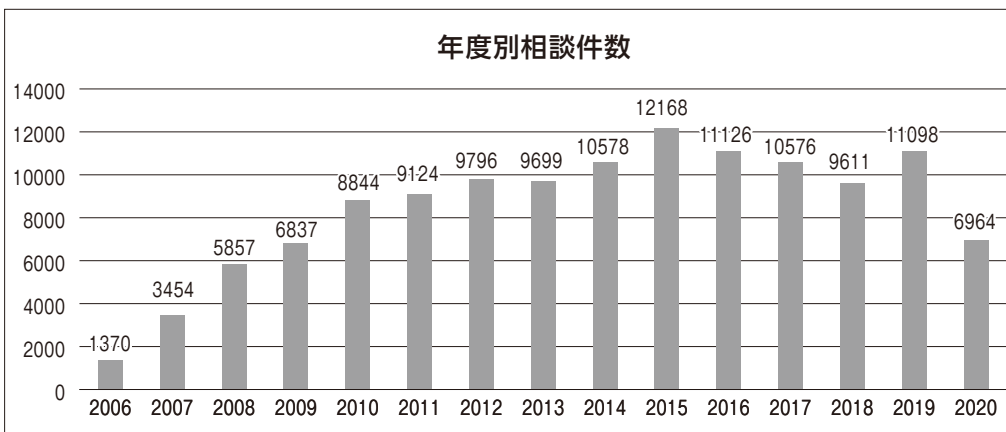
お問合せ(株式会社バリューブックス)：0120-826-295
 受付時間：10:00-21:00(月~土) 10:00-17:00(日)

がん相談ホットライン

コロナ禍で体制縮小
受付時間を短縮

2020年度の相談件数6,964件(前年度比62.7%)

がん患者さんや家族の方などから無料で相談を受け付けている「がん相談ホットライン」の2020年度の年報がまとまった。相談件数は6,964件で、前年度から4,134件(37.2%)の大幅減となった。新型コロナウイルス感染症の流行により、相談員の感染防止のために相談体制を縮小したことが影響したと考えられる。



2020年度のまとめ

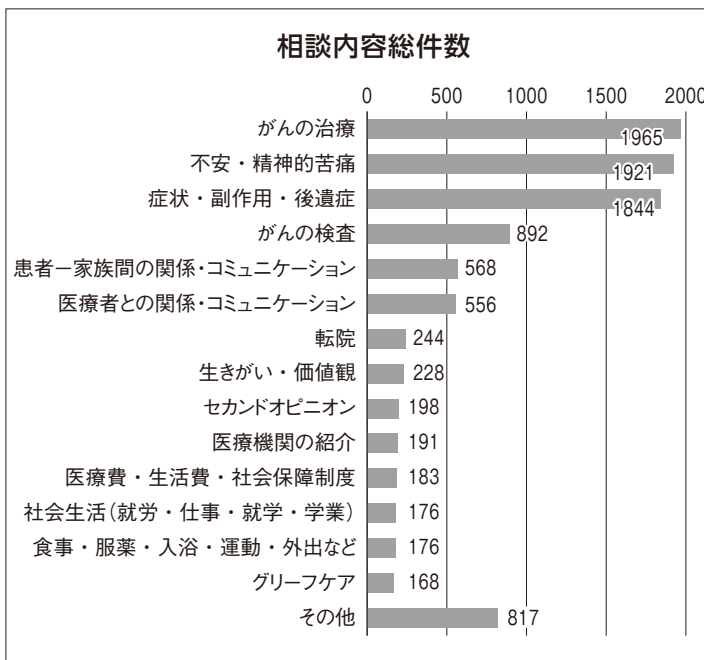
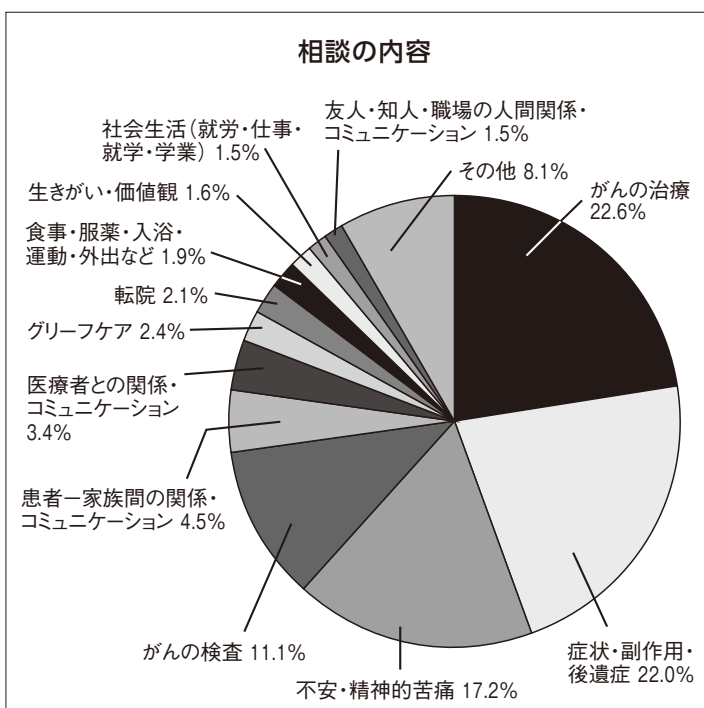
ホットラインは祝日、年末年始を除いて毎日受け付けており、匿名の相談者から看護師と社会福祉士が匿名で相談に応じている。しかし、コロナ禍による最初の緊急事態宣言に伴い、2020年4月8日以降は回線数を絞り、午前10時～午後6時だった受付時間を短縮し、午前10時～午後1時と午後3時～午後6時に分けた。また、東京都で最初と2回目の緊急事態宣言が出た際は休止日も設けて対応した。

月平均の相談件数は580件。最初の緊急事態宣言下にあたる2020年5月は、381件で最も少なかった。同6月以降は600件台で推移し、同10月に最高の707件になった。相談者の男女比率は、女性が77.6%(5,402件)、男性が22.4%(1,561件)と例年通り、女性が多かった。また、不明が1件あった。

相談者の年代別では、50代が26.5%(1,843件)、40代21.6件(1,502件)、60代20.5%(1,426件)、70代11.4%(794件)など。相談者は、患者本人が69.9%(4,868件)で最も多く、次に娘10.4%(723件)、妻5.6%(392件)となった。

相談した疾患の部位は、乳房27.6%(1,921件)、大腸12.3%(859件)、肺8.5%(595件)と、がんの罹患数が多い部位が上位を占めた。

相談内容は「がんの治療」が22.6%(1,577件)、「症状・副作用・後遺症」が22.0%(1,531件)、「不安・精神的苦痛」に関する相談が17.2%(1,200件)と続き、グリーフケアは2.4%(168件)だった。一つの相談に複数の問題が絡んでいることが多く、相談内容の項目は複数選択とし、最も比重の高い項目を集計した。また、相談内容の総件数は「がんの治療」が1,965件で最も多く、「不安・精神的苦痛」が1,921件、「症状・副作用・後遺症」が1,844件と続いた。がん治療では、ゲノム医療や新たな薬・治療法に関する相談が目立った。



新型コロナウイルスに関する相談件数

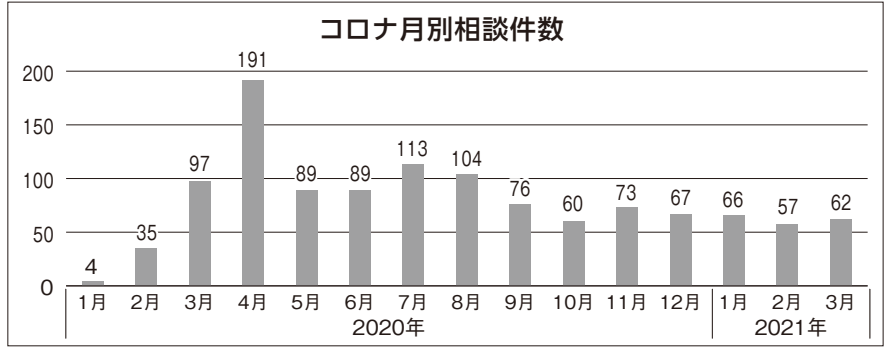
新型コロナに関する相談も多く寄せられた。国内初の感染者確認が報道された4日後の2020年1月20日～3月末の2019年度内に計136件の相談が寄せられた。新年度となる2020年4月以降も相談は続いて計1,047件にのぼり、2020年度の全相談件数の15%を占めた。

月別の相談件数が最も多かったのは、最初の緊急事態宣言が出された4月の191件。3月末に、タレントの志村けんさんが新型コロナで亡くなったことも影響したと考えられる。また、初の緊急事態宣言を受けての不安などもあったと思われる。

相談者の内訳は、治療中の方が46.5%と最も多く、次いで、おおむね治療3カ月以降の経過観察中の方が18.1%、診断後の精査中を含む治療前の方が8.8%などとなった。

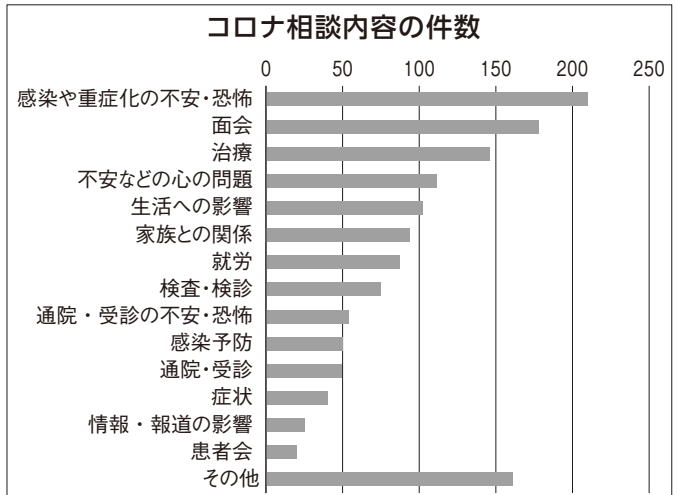
相談内容は「感染や重症化の不安・恐怖」が最も多く、次いで「面会」や「治療」に関する相談などとなった。相談内容の項目は複数選択とし、すべてを集計した。

当初は「得体の知れない物への恐怖」



を感じている様子で、「頑張ってがんを治療したのに、コロナで死にたくない!!」と取り乱す相談者もいた。治療や検査・検診について「受けてもいいのか」「延期した方がいいのか」といった相談も多く、病院などでの感染を恐

れる声も聞かれた。また、時間の経過とともに「院内でクラスターが発生した」「治療が延期になった」「転院を勧められた」など状況が深刻になる様子が見え始めた。また、家族からは「面会が制限されている」「診察に同席できない」などの焦燥感も伝わってきた。



また、医療に限らず、日常生活への影響や就労への不安といった相談も寄せられた。患者の方は、家族や医療者、ほかの患者さんとの関わりが減ったことにより、普段よりも孤独感、孤立感を深めている様子が見え始めた。

相談者からの感謝のことば

ステージⅣと診断された方

がんが診断されただけでなく、転移も見つかった。ステージⅣは死ぬということだと思い、絶望したが、ステージⅣでも治療しながら生きている人がいると聞いて、希望の光が見えた。気持ちが落ち着きました。

終活を考える方

抗がん剤治療中だが、耐性が出来て使える薬が少なくなりつつある。緩和ケアも含めて、これからのことを考えなければいけないと思っている。いろいろ話を聞いてくれてありがとう。また頑張ります。

がん罹患後の生き方に悩む方

テレビやネットでがんを乗り越え活躍している人を見ると嫉妬してしまう。他人と比較し、うらやんでいる自分が嫌になる。自分だけ前に進めないと思っていたが、歩む速度は自分のペースでいいとわかり、ホッとした。

がん治療と仕事の兼ね合いに悩む方

がんが診断されたが、仕事との兼ね合いを考えると治療に迷う。主治医も説明してくれたが、よくわからない。ここで主治医の話をわかり易く解説してもらったことで納得できた。そういう話を聞きたかったんだ。これで決心がつく。

緩和ケア入院中で面会が出来ず悩む方

家族が、がん末期で緩和ケア入院中。コロナ感染予防のため面会に行かれない、本人を一人にさせることになって辛い。そんな気持ちを口に出せて気が楽になった。優しい言葉をかけてもらえて、それだけで心が軽くなった。また、自分には何もできないと思っていたが、相談したことで、自分にもやれていることがあると気がつくことができ、感謝です。

治療前のコロナ感染予防に疲弊している方

治療前にコロナ感染して治療を延期したくないので、感染予防に神経を使っている。治療前だからこそやりたいこともあるのに、それできずにフラストレーションがたまる。行き詰まった気持ちで相談したが、話すうちに何とかなるかもと思えるようになって、気持ちが楽になった。

グリーフケア

家族ががんで亡くなった。これまでに何度もホットラインに電話して、その度に色々教えてもらって助けてもらった。今回も、これまでの経緯や、その時の気持ちを話すうちに、だいぶ心の整理がついた。本当に感謝している。

2019年度グループ支部 がん検診の実施状況から

■全体

支部名	受診者数 (A)	要精検者数 (B)	精検受診者数 (C)	精検の結果								
				がん(D)	がん疑い	CIN I (軽度)	CIN II (中等度)	CIN III			CIN I～III の区分不明	AIS
								高度	上皮がん	詳細不明		
北海道	58,376	834	775	13	0	150	60	80	22	0	0	1
青森	39,155	783	666	7	-	204	73	29	20	-	12	-
岩手	42,855	866	772	3	0	137	57	36	19	3	3	1
宮城	109,608	962	933	12	1	383	169	34	17	0	0	4
秋田	20,860	248	224	3	-	97	30	23	8	-	-	-
山形	36,547	421	331	2	-	102	31	-	26	-	-	-
福島	67,022	732	655	16	288	136	73	-	-	48	-	5
茨城	94,064	1,678	1,502	10	0	385	120	0	0	79	0	5
栃木	38,016	996	792	4	-	338	102	55	4	-	-	2
群馬	28,552	281	253	2	30	87	27	12	6	1	2	0
埼玉	11,165	77	58	3	-	22	11	-	-	4	-	-
千葉	85,571	1,119	935	7	0	315	107	55	6	0	4	4
新潟	48,615	875	744	3	117	193	66	54	3	0	3	2
山梨	68	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	15,548	205	171	2	11	53	21	0	0	9	2	0
富山	48,551	340	310	7	0	101	38	40	3	0	0	3
石川	16,078	170	146	3	0	56	14	11	0	0	0	0
福井	31,836	258	227	7	0	77	30	40	0	0	0	3
愛知	6,393	168	139	0	24	28	12	6	1	-	1	-
三重	17,873	332	258	1	23	70	16	0	0	8	0	1
滋賀	5,391	15	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
京都	19,040	594	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	21,681	551	477	1	0	79	20	34	2	2	9	0
奈良	2,035	19	18	0	3	4	1	0	1	3	2	0
和歌山	1,354	2	1	0	0	0	1	-	-	-	-	-
鳥取	13,381	128	108	2	-	19	9	-	-	12	-	1
島根	7,474	186	133	1	-	24	6	11	2	-	-	-
岡山	22,142	301	119	4	-	25	16	11	2	-	-	-
広島	12,668	164	142	1	0	33	11	10	1	0	0	-
山口	7,381	149	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島	5,354	152	76	0	0	12	2	0	0	6	0	1
香川	11,639	220	152	1	0	66	20	30	0	0	4	0
愛媛	24,055	220	202	7	0	73	23	24	0	0	0	1
高知	24,190	181	122	2	0	24	13	18	5	0	0	1
福岡	52,718	945	778	14	1	194	82	28	7	24	7	1
佐賀	41,185	756	595	9	83	252	66	9	6	44	0	1
長崎	16,158	257	236	2	26	92	33	13	3	8	0	1
熊本	37,289	1,113	888	9	2	128	51	64	10	0	0	1
大分	18,054	289	263	1	0	102	14	8	5	1	0	0
宮崎	15,100	365	294	7	-	91	13	22	1	-	2	-
鹿児島	50,607	461	408	4	32	119	58	29	3	7	12	0
沖縄	13,580	313	237	1	39	69	23	24	0	0	0	1
合計	1,239,229	18,726	15,140	171	680	4,340	1,519	810	183	259	63	40

◇子宮頸がん

子宮頸がん 以外のがん	精検の結果			精検不要の 人数 (E)	精検受診の 有無を把握し ていない人数 (F)	精検の結果 を把握して いる人数 (G)	要精検率 (B/A)	精検受診率 (C/B)	がん発見率 (D/A)	陽性反応 的中度 (D/B)	支部名
	がん以外の 疾患	異常なし	その他の 結果								
8	7	99	335	57,542	59	775	1.43%	92.93%	0.02%	1.56%	北海道
7	4	255	55	38,372	117	666	2.00%	85.06%	0.02%	0.89%	青森
9	415	89	0	41,989	94	772	2.02%	89.15%	0.01%	0.35%	岩手
0	31	282	0	108,646	29	933	0.88%	96.99%	0.01%	1.25%	宮城
0	38	25	0	20,612	24	224	1.19%	90.32%	0.01%	1.21%	秋田
-	-	143	27	36,126	90	331	1.15%	78.62%	0.01%	0.48%	山形
4	1	84	-	66,290	77	655	1.09%	89.48%	0.02%	2.19%	福島
10	645	248	0	92,386	176	1,502	1.78%	89.51%	0.01%	0.60%	茨城
2	21	264	-	37,020	204	792	2.62%	79.52%	0.01%	0.40%	栃木
2	26	52	5	28,271	28	252	0.98%	90.04%	0.01%	0.71%	群馬
-	-	13	5	11,088	19	58	0.69%	75.32%	0.03%	3.90%	埼玉
2	210	225	-	84,452	184	935	1.31%	83.56%	0.01%	0.63%	千葉
4	0	199	42	47,740	131	686	1.80%	85.03%	0.01%	0.34%	新潟
-	-	-	-	68	-	0	0.00%	-	-	-	山梨
0	5	68	0	15,343	34	171	1.32%	83.41%	0.01%	0.98%	長野
0	48	70	0	48,211	30	310	0.70%	91.18%	0.01%	2.06%	富山
1	24	37	0	15,908	24	146	1.06%	85.88%	0.02%	1.76%	石川
3	40	27	0	31,578	31	227	0.81%	87.98%	0.02%	2.71%	福井
1	3	55	8	6,225	29	139	2.63%	82.74%	0.00%	0.00%	愛知
0	20	49	71	17,541	74	259	1.86%	77.71%	0.01%	0.30%	三重
-	-	-	-	5,376	-	0	0.28%	-	-	-	滋賀
-	-	-	-	18,446	-	0	3.12%	-	-	-	京都
0	119	162	0	21,130	74	428	2.54%	86.57%	0.00%	0.18%	兵庫
0	0	4	0	2,016	1	18	0.93%	94.74%	0.00%	0.00%	奈良
-	-	-	-	1,352	1	1	0.15%	50.00%	0.00%	0.00%	和歌山
-	28	37	-	13,253	20	108	0.96%	84.38%	0.01%	1.56%	鳥取
-	5	32	52	7,288	53	133	2.49%	71.51%	0.01%	0.54%	島根
-	6	28	27	21,841	182	119	1.36%	39.53%	0.02%	1.33%	岡山
0	7	66	13	12,504	22	142	1.29%	86.59%	0.01%	0.61%	広島
-	-	-	-	7,232	149	0	2.02%	0.00%	-	-	山口
0	1	13	41	5,202	76	76	2.84%	50.00%	0.00%	0.00%	徳島
1	10	20	0	11,419	68	152	1.89%	69.09%	0.01%	0.45%	香川
2	32	40	0	23,835	18	202	0.91%	91.82%	0.03%	3.18%	愛媛
1	40	18	-	24,009	59	122	0.75%	67.40%	0.01%	1.10%	高知
1	44	240	137	51,773	167	780	1.79%	82.33%	0.03%	1.48%	福岡
5	18	99	3	40,429	161	595	1.84%	78.70%	0.02%	1.19%	佐賀
1	17	40	0	15,901	21	236	1.59%	91.83%	0.01%	0.78%	長崎
4	263	279	77	36,176	225	888	2.98%	79.78%	0.02%	0.81%	熊本
2	57	73	0	17,765	26	263	1.60%	91.00%	0.01%	0.35%	大分
-	34	122	-	14,735	71	292	2.42%	80.55%	0.05%	1.92%	宮崎
0	6	138	0	50,146	53	408	0.91%	88.50%	0.01%	0.87%	鹿児島
0	17	63	0	13,267	76	237	2.30%	75.72%	0.01%	0.32%	沖縄
70	2242	3758	898	1,220,503	3,586	15,033	1.51%	80.85%	0.01%	0.91%	合計

検診業務にかかわる42支部について掲載

がんテーマに奥仲医師と「漱石」が対談

二松学舎大附属柏中で特別授業

がんの正しい知識を学んでもらおうと、がん教育の特別授業が11月13日、千葉県柏市の二松学舎大学柏キャンパスで開かれた。同大附属柏中学校(七五三和男校長)の2年生約100人が参加し、山王病院副院長で、国際医療福祉大教授の奥仲哲弥医師(呼吸器外科)の講義を受けた。生徒たちは真剣な表情で話に聞き入り、メモを取った。

授業の冒頭では、学校法人二松学舎(水戸英則理事長)が所有する文豪・夏目漱石を再現した人間型ロボット「漱石アンドロイド」とがんをテーマに対談。がんで亡くなる人が増えた理由について、奥仲医師は、平均寿命が明治時代の2倍近くに延びたこと、生活習慣や化学物質などに加え、喫煙の影響も大きいことを説明した。

また、漱石がロンドン留学中に発見されたX線によって医療技術が進展し、がん検診などによる早期の発見と適切な治療で9割以上が治ると説明。病気がちだった漱石も現代に生きていたなら「検診を受けたい」と話した。

講義では、がんは30年連続で日本人の死亡原因の1位であり、毎年約100万人が新たにがんと診断され、生涯で国民の2人に1人が罹患すること、約3人に1人ががんで亡くなっていることなどをクイズ形式で解説。専門である肺がんの手術・治療では、CT画像をもとに気管支をコンピューター画像で立体的に再現し、診断に役立つ技術やロボットを使った手術を紹介した。

がんの予防では、たばこを吸わないことが第一で、肺がんの死因の65%が喫煙によるものと指摘。喫煙者が肺がんになる可能性は非喫煙者の5倍、喫煙者の配偶者は非喫煙者でも2倍になると受動喫煙の害にもふれた。そして、がんから自分を守るために禁煙はもちろん、検診での早期発見、がんの正しい知識が大切だと締めくくった。

終了後、生徒たちは「がんへの印象が変わり、CT画像で肺を再現する技術にも驚いた」「手術方法の進歩で、がんも治せるという未来に希望を持った」「喫煙について家族に話したい」。また、がん教育担当の栗真千里教諭は「とてもわかりやすく、大人でも興味がわいた。話術も参考にして授業をしたい」と話した。



がんをテーマに漱石アンドロイドと壇上で対談する奥仲哲弥医師(左)

日本対がん協会 事務所が移転

11月29日(月)、日本対がん協会の事務所が移転しました。

「がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい」という理念のもと、予防、検診、患者・家族支援などの活動にさらに力を入れていきます。

新事務所の住所は、次の通りです。

〒104-0045

東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル7階

電話：03-3541-4771 / FAX：03-3541-4783

(代表電話、FAXの番号はこれまで通りです)

アクセス

都営大江戸線・築地市場駅A2出口より徒歩3分

東京メトロ日比谷線・東銀座駅6番出口、築地駅1番出口より各徒歩9分

都営浅草線・東銀座駅4番出口より徒歩9分

JR新橋駅銀座口より徒歩8分

東京メトロ銀座線・新橋駅1番出口より徒歩8分

